

あいち農産物生産流通レポート

平成28年8月号

	ページ
◎ 地域トピックス ・ 愛知県果樹振興会ぶどう現地研究会が日進市で開催されました (尾張農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報 ・ 首都圏で「いちじく」、「とうがん」セミナー開催 (東京事務所)	2
◎ 西日本情報 ・ 水田転作作物の生産動向について (園芸農産課)	4
◎ 青果 ・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し	8
◎ 花き ・ 切花・鉢花の8月の見通し(県内市場)	20
◎ 輸出入 ・ 主要農林水産物の輸出入実績(2016年5月)	24
◎ 関連指数	25

※ 今月、「情報サロン」、「フラワーページ」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県果樹振興会ぶどう現地研究会が日進市で開催されました

尾張農林水産事務所

平成 28 年 7 月 13 日(水)に、日進市で「愛知県果樹振興会ぶどう現地研究会」が開催されました。管内ぶどう生産者 2 名の園地の視察と、日進市民会館大ホールで講演会が行われ、ぶどう栽培における所得向上及び生産技術の向上を目的に、県内のぶどう生産関係者 188 名が参加しました。

○園地視察

園地視察では、視察園の経営や栽培概要について、尾張農業改良普及課の果樹普及指導員が説明しました。その後、ほ場のぶどうを見ながら、同席した園主に対する質問や、生産者同士の情報交換がおのずと行われ、県内有数の大規模経営を行っている視察園への関心の高さがうかがわれました。



園地視察の様子

○産地紹介

日進市の生産者は、市街地に直売所を保有するなど、都市近郊の強みを活かした経営を行っています。また、良食味で皮ごと食べられることで近年人気急上昇している「シャインマスカット」や赤系新品種「クイーンニーナ」の導入、ジュース等の加工品による販路拡大や、エコファーマー認定の取得等にも積極的に取り組んでいます。

午後からの講演に先立ち行われた来賓挨拶では、青山副市長から、園地視察先の農家が小学校で長年指導をされていること、ぶどうセットが日進市の「ふるさと納税」の返礼品に取り入れられていること等、地域振興の一翼を担っている面が紹介されました。

○消費者ニーズの高いブドウ品種について講演

農研機構ブドウ・カキ研究領域育種ユニット ユニットリーダーの佐藤明彦氏による『「シャインマスカット」及びブドウの新品種について』と題した講演が行われました。

佐藤先生は「シャインマスカット」や「クイーンニーナ」の育種に携わられており、ぶどう育種の目標や「シャインマスカット」栽培における注意事項、「クイーンニーナ」の特性等について説明がなされました。

その後は、講師と生産者代表との意見交換会及び講師や園主に対しての質疑応答となり、「新品種に対するジベレリン処理について」「シャインマスカットの今後の方向性について」などといった質問が多数出され、活発な意見交換が行われました。参加者からは、「農研機構の方から技術的な話が聞けてよかった。」「今後のぶどうの品種選びについて大変参考になった。」などの感想が聞かれ、県内の生産者にとって有意義な現地研究会になりました。

首都圏で「いちじく」、「とうがん」セミナー開催

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

夏野菜や夏果実の入荷がトップシーズンを迎えるなか、本県産「いちじく」と「とうがん」を紹介するセミナーが開催されましたので、その概要を報告します。なお、平成27年の東京都中央卸売市場における本県産いちじくの入荷実績は458 t（占有率36.8%）、とうがんは831 t（同66.8%）、といずれもトップシェアでした。

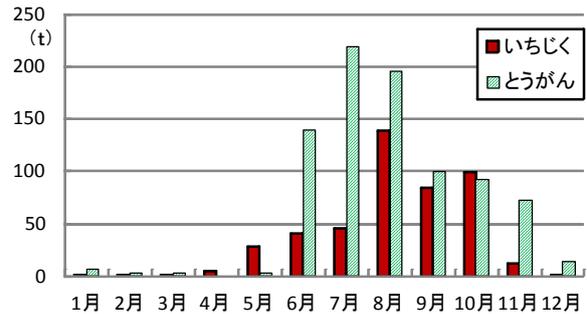


図 東京都中央卸売市場における本県産入荷実績 (H27年)

○フルーティーライフ教室

6月9日（木）、フルーツ専門店である（株）新宿高野本店（新宿区新宿）にて、本県産いちじくを使用したデザートや総菜の販売イベントが開催されました（期間：6/1(水)～12(日)）。イベントにあわせ、同店で毎月開催される「フルーティーライフ教室」のなかで本県産いちじくのPRが行われました。

本教室はJAあいち経済連東日本営業所の担当者が講師となり、いちじくを使用したメニューを味わいながら、栽培方法や食べ頃の見極め方等を学ぶもので、40～50代を中心とした女性12名（満席）が参加されました。参加者は、「いちじくのコンポート」、「生ハムといちじくのサラダ」、「ブルーチーズといちじくのオープンサンド」などを食し、見た目の美しさと美味しさを堪能されていました。また、地下2階では「愛知県産いちじく特集」と題して、いちじくを使用したタルト、メロンやラズベリーをトッピングしたデザート等が販売されました。



生ハムといちじくのサラダ

○和食レシピセミナー

7月15日（金）、農業・農村ギャラリー「ミノレ」（千代田区大手町）にて、とうがんといちじくを使用した和食レシピのセミナーが開催されました。講師は、日本橋「ゆかり」三代目の^{のながきみお}野永喜三夫氏。30-50代を中心とした女性50名（満席）が参加されました。

セミナーでは、

①鶏挽肉を用いたとうがんの含め煮、

②白ワインによるいちじくのコンポート、

の二つのレシピを野永氏が実演しながら紹介されました。

①では、「とうがんはスポンジのイメージ。うまい出汁をしっかりと吸わせてあげることが重要。小さめにカットすることが時短のポイントです。」②では、「フライパンひとつで簡単に調理でき、バニラクリームやバウムクーヘン等とあわせて盛りつけることで高級デザートに早変わりします。」との解説がありました。

参加者からは、「とうがんもいちじくも自分で調理するイメージがなかった。これから使ってみたい。」等の声が聞かれました。

本県の夏に向けた主な農産物は、今回紹介したいちじく、とうがん、そのほかにもハウスみかんやアールスメロンなどがあります。今回のように食べ方や保存方法をセミナーで実演紹介する、また量販店などで試食やメニュー提案していくことで一般家庭での消費拡大につながると思われました。今後もこうした取組を継続して行うことで本県産農産物をより深く知ってもらい、あいちの農産物ファンの獲得につながることを期待されます。



調理実演する野永氏



とうがんの含め煮



いちじくのコンポート

水田転作作物の生産動向について

園芸農産課 農産グループ

国のデータによると主食用米の年間需要量は、毎年約8万トンずつの減少傾向にあります。主食用米の需給バランスを確保するとともに水田を有効活用するため、県内では様々な作物が作付けされています。ここではそれらのうち、代表的な作物である麦類・大豆及び飼料用米の生産動向について説明します。

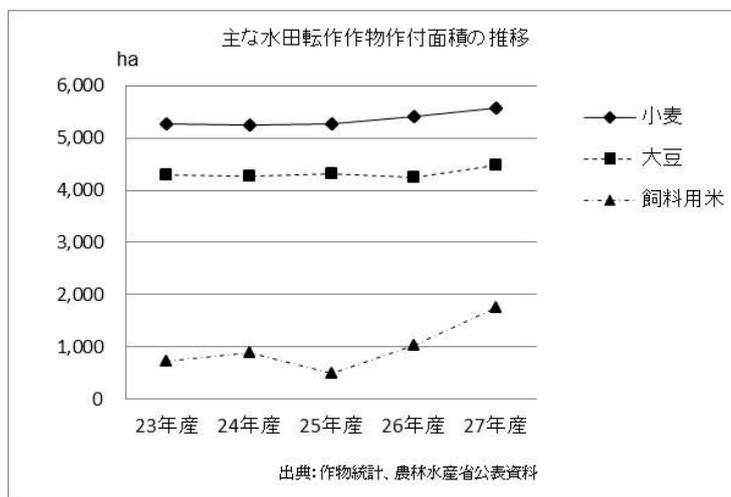
1 麦類・大豆

麦類・大豆は西三河地域、豊田加茂地域及び海部地域を中心にブロックローテーションにより水稲と組み合わせた2年3作型で作付けされています。

(1) 小麦

近年では上記地域以外にも作付けが広がっており、27年産では

5,580haと23年産と比較して310ha増加しています。品種は「農林61号」が主力でしたが、24年産から県が育成した「きぬあかり」の本格生産が始まり、28年産では小麦作付面積の8割を占める主力品種となっています。なお、30年産には小麦作付面積のほとんどが「きぬあかり」となる予定です。



(2) 大麦

大口町では、六条大麦が60ha程度作付けされており、麦茶に使用されています。

(3) 大豆

大豆の作付面積は26年産まで約4,300haで横ばいの状況でしたが、27年産は4,470haと26年産と比較して220ha増加しています。しかし、10aあたり収量は104～151kgと少なく、年次変動の大きいことが課題となっています。

2 飼料用米

飼料用米とは家畜飼料として生産する米のことです。

飼料用米は、麦類や大豆の作付けに不適な湿田等でも作付けでき、新たな機械投資も必要としないことから、尾張地域の平野部を中心に面積を拡大しています。27年産では1,752haと26年産と比較して1.7倍の作付面積となりました。

これは、26年産主食用米の価格が在庫数量の高まりから過去最低水準となり、これを解消するために飼料用米への取組が推進されたことによるものです。

飼料用米の多くは主食用品種を用いて作付けされていますが、多収品種の作付も増加してきました。県が育成した「愛知125号」は多収品種として飼料用米に適しており、29年産から種子が供給される予定です。

なお、麦類、大豆、飼料用米等の生産は、国が実施する経営所得安定対策等による交付金等の対象となっています。
これらの交付金等を活用し、需要に応じた米生産を推進しましょう。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
27年実績	1,116	162 (15%)	884	996	長野 (66%) 山梨 (20%) 愛知 (15%)
28年見通し	1,100	160	850	800	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>長野、山梨を中心に入荷するが、シャインマスカットの作付けへの移行があるため減少傾向。特に、有核巨峰は減少。 生育状況は、平年より5～7日程度前進している。 入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>長野県はハウス巨峰からシャインマスカットにかわる生産者が増えている。 昨年と同様で、消費者は種なしで皮ごと食べられるものを好む傾向が強くなっている。 産地は作付けを維持、拡大し、栽培量の減少を止めて欲しい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
27年実績	1,244	458 (37%)	783	934	和歌山 (31%) 福岡 (8%) 静岡 (8%)
28年見通し	1,330	—	730	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県を中心に和歌山、福岡などから入荷する。本県の露地ものは上旬から始まり盆明けにピークを迎える。和歌山は露地ものの生育が前進傾向であり、盆前後にピークを迎える。福岡は生育は順調。無加温ものと露地もの入荷が重なる下旬～9月上旬にピークを迎える。入荷量は不作であった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>夏から秋の果物として定着している。本県産は、数量・品質ともに高く、量販店からも支持されている。商品の特性として傷みがやすく、品質管理が特に重要であるため検品をしっかりとるとともに、等階級別選果の徹底に努めてほしい。 生産者の高齢化等により生産規模が縮小傾向であるが、産地の維持・拡大をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	33,421	202	209	203	200	北海道 31%
	24年	32,547	185	178	189	192	長野 22%
	25年	31,543	215	205	221	219	群馬 11%
	26年	30,455	238	216	242	256	青森 5%
	27年	31,113	253	263	263	238	
計	5ヵ年平均	31,816	219	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	30,400	237	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、長野が中心。葉物類は適度な降雨があつて良いできばえ。北海道は6月が低温で生育に遅れがあつたが、回復してきた。これから高温期に入り傷みやすい時期で、全体的な入荷も抑制される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だい	23年	2,112	69	76	59	78	北海道 56%
	24年	1,891	73	69	72	84	青森 34%
	25年	1,762	95	82	110	103	岐阜 9%
	26年	1,494	103	85	113	115	長野 1%
	27年	1,614	118	103	138	126	
こ	5ヵ年平均	1,775	90	82	95	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,500	130	130	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森が中心。北海道は、は種時期の作業が遅れ、前半は思うような入荷がない見込み。そのため、入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年をかなり上回る見込み。							
に	23年	2,006	130	131	129	133	北海道 98%
	24年	2,119	92	95	90	95	青森 2%
	25年	1,802	151	149	161	147	中国 1%
	26年	2,030	125	127	123	129	
	27年	1,924	174	192	162	167	
じ	5ヵ年平均	1,976	133	138	132	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,900	150	150	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道が中心に青森の残量が入荷する。北海道はまずまずの生育で7月下旬からLLを中心に順調な入荷が見込まれる。入荷量は前年並、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

7月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	126,666	219	218	211	226	北海道 26%
	24年	130,732	191	192	197	186	群馬 15%
	25年	126,860	228	223	223	236	長野 14%
	26年	122,553	256	223	261	280	青森 7%
	27年	125,582	267	268	270	263	茨城 6%
	計	5ヵ年平均	126,479	232	—	—	—
28年見通し	124,000	250	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、群馬、長野からの入荷が中心となる。にんじんやレタス、たまねぎなど産地や作型の切り替わり時期となる。北海道、東北は6月の天候不順の影響で生育遅れ気味だが今後の天候次第。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	23年	10,196	70	69	65	74	北海道 67%
	24年	9,800	68	57	70	75	青森 27%
	25年	9,335	92	74	102	101	岩手 4%
	26年	9,348	102	77	112	114	群馬 1%
	27年	9,412	121	101	133	128	
	計	5ヵ年平均	9,618	90	75	96	98
28年見通し	9,200	117	110	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森からの入荷がほとんどを占める。北海道は6月の降雨と低温の影響では種作業や生育が遅れ気味だが肥大は良好。青森は、は種が遅れ中旬まで入荷は伸び悩む見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					
にんじん	23年	6,614	121	116	121	126	北海道 90%
	24年	7,098	96	98	96	94	青森 5%
	25年	6,269	147	145	160	140	中国 3%
	26年	6,875	114	116	113	113	千葉 1%
	27年	6,635	167	189	158	155	
	計	5ヵ年平均	6,698	128	132	129	125
28年見通し	6,300	163	180	160	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に青森から入荷する。北海道は6月の降雨と低温の影響で、は種作業や生育が遅れ気味でMサイズ中心の見込み。青森は作型の切り替わり時期で肥大が回復する見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をわずかに下回る見込み。</p>					

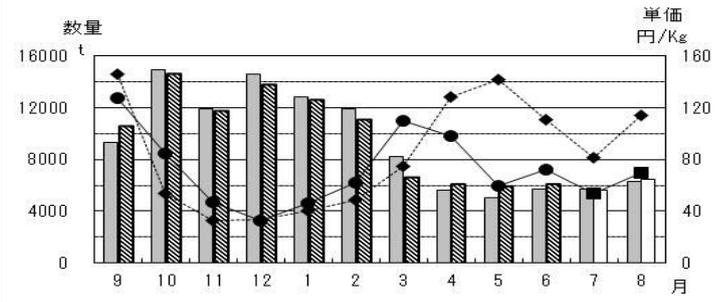
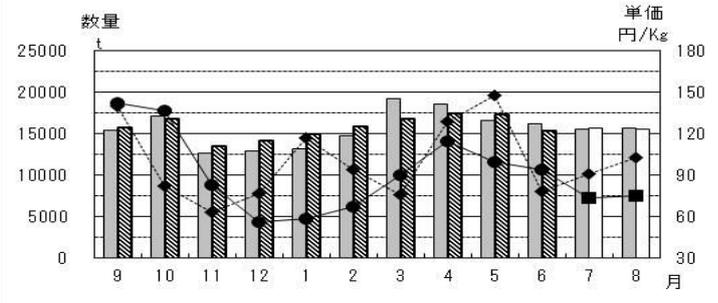
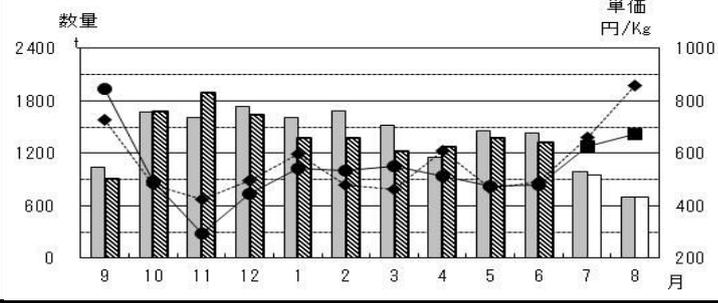
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)
			上旬	中旬	下旬	
ほうき	23年	2,062	55	60	64	長野 98% 北海道 2%
	24年	1,659	58	73	53	
	25年	1,335	100	113	108	
	26年	1,423	115	136	126	
	27年	1,434	109	146	96	
さい	5ヵ年平均	1,583	84	80	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,450	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野の佐久地域を中心に、北海道からも入荷する。生育は概ね順調。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>				
キヤベツ	23年	4,323	62	59	53	群馬 62% 長野 21% 北海道 13%
	24年	4,638	60	57	72	
	25年	4,252	83	76	84	
	26年	4,048	98	86	105	
	27年	4,206	103	103	114	
さい	5ヵ年平均	4,293	81	76	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,200	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に長野、北海道から入荷する。群馬は7月に前進して出荷されたため、8月やや少なめの見込み。 入荷量は前年並、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>				
ほうれんそう	23年	217	633	640	545	岐阜 87% 長野 6% 静岡 3% 愛知 1%
	24年	206	687	645	716	
	25年	184	658	546	656	
	26年	143	797	689	731	
	27年	159	867	760	821	
さい	5ヵ年平均	182	717	651	684	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	150	720	720	720	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜の飛騨を中心に長野などから入荷する。高温とハウス内作業の兼ね合いでやや少なめの入荷を見込む。また、下等級の比率も増える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>				

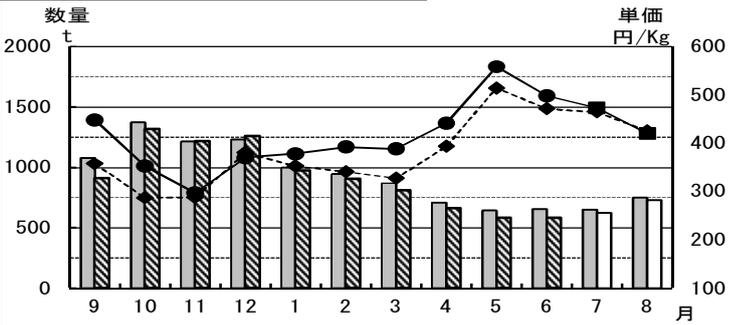
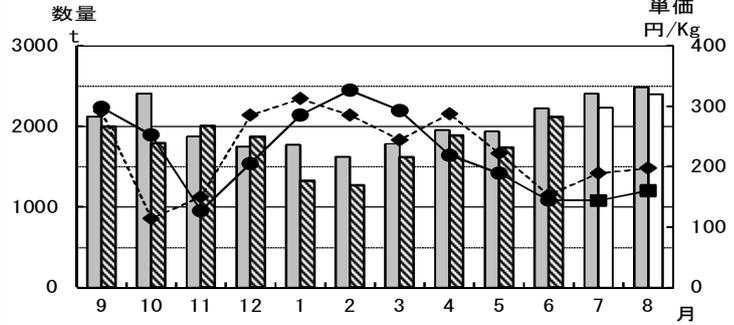
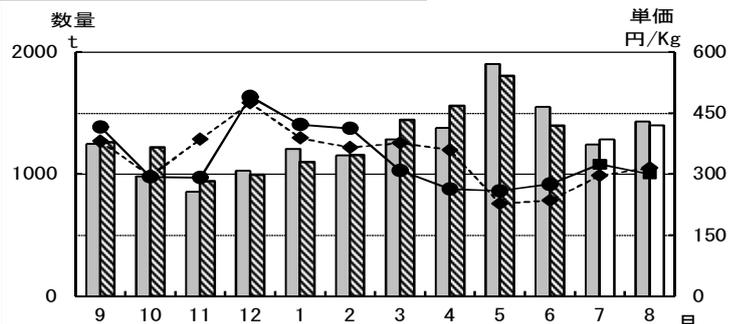
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	6,482	56	55	61	長野 94% 群馬 4% 北海道 2%	
	24年	5,682	59	76	50		
	25年	5,816	101	107	103		
	26年	5,529	113	128	117		
	27年	6,320	114	150	97		
さい	5ヵ年平均	5,966	88	79	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	6,500	70	60	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が中心となる。長野の作付面積は前年より増。適度な降雨と気温の影響で玉肥大よく生育は前進傾向。順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							
キヤベツ	23年	16,619	60	56	74	群馬 79% 岩手 14% 長野 3% 北海道 2%	
	24年	15,491	54	48	51		
	25年	15,333	80	71	89		
	26年	14,423	94	73	100		
	27年	15,657	103	94	110		
さい	5ヵ年平均	15,505	78	68	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	15,600	75	75	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬は生育、玉肥大良好。高温の影響で7日程度前進出荷傾向。岩手は降霜や低温の影響で生育は遅れ気味だが8月に最盛期を迎える見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							
ほうれんそう	23年	827	617	568	562	723	群馬 31% 栃木 22% 茨城 16% 岩手 11% 岐阜 9%
	24年	800	613	561	668	619	
	25年	796	638	522	660	749	
	26年	754	778	661	712	970	
	27年	695	857	797	951	828	
さい	5ヵ年平均	774	695	616	703	774	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	700	673	620	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、栃木など関東高冷地と岩手からの入荷となる。主要産地の生育は概ね良好。群馬は高温の影響で生育前進傾向。岩手は6月の曇天の影響で軟弱気味、お盆明けから出荷増の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							

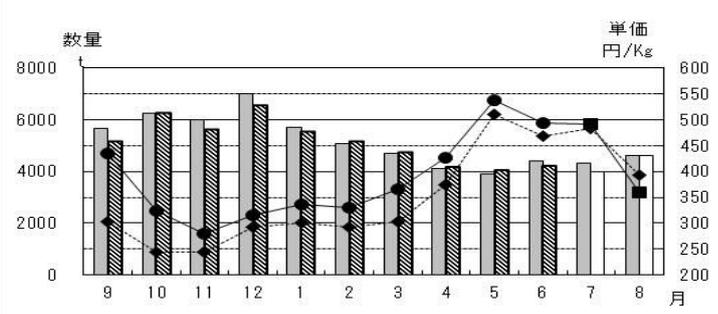
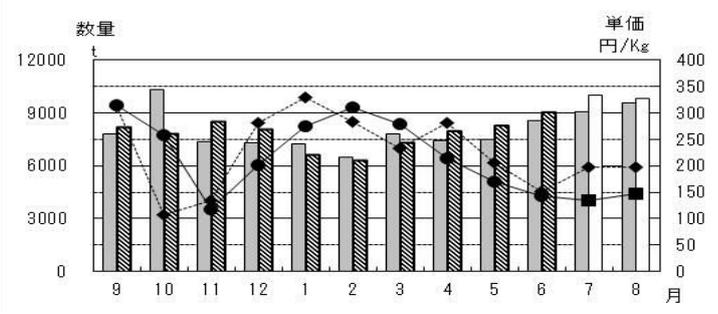
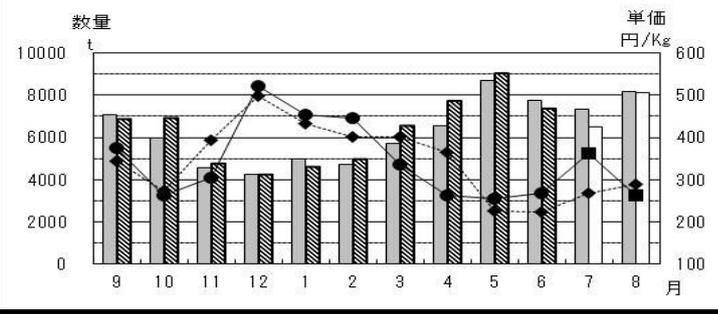
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	791	353	320	358	404	北海道 34%
	24年	835	347	342	378	346	愛知 13%
	25年	718	427	431	459	415	茨城 9%
	26年	718	421	384	490	413	長野 8%
	27年	747	425	426	467	408	
ぎ	5ヵ年平均	762	393	379	428	396	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	730	420	420	440	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知の長ねぎ、北海道の白ねぎが中心に入荷する。愛知はやや面積が減少しているが、生育は順調。北海道も順調な生育となっている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
し た ス	23年	2,072	176	131	186	236	長野 99%
	24年	2,429	126	135	135	131	
	25年	2,663	140	145	138	155	
	26年	2,519	217	176	195	294	
	27年	2,483	197	206	218	183	
ス	5ヵ年平均	2,433	171	159	174	198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,400	160	150	160	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野の高冷地物が入荷する。作付けがしっかりされていて順調なできばえ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き ゆ う り	23年	1,545	275	261	205	394	長野 52%
	24年	1,570	227	216	218	252	北海道 19%
	25年	1,423	295	241	229	421	山形 10%
	26年	1,231	408	230	449	563	山梨 5%
	27年	1,429	315	297	310	371	
り	5ヵ年平均	1,440	299	249	275	393	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,400	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、北海道を中心に岩手、山梨などから入荷する。面積は横這いからやや減少する。猛暑でピークは上旬の見込み。また、暑さで下等級品が増え、正品率が低下する。下旬には樹勢も低下し、入荷は減る。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	4,514	348	288	371	385	茨城 30%
	24年	4,736	274	261	325	252	青森 17%
	25年	4,605	379	378	448	340	北海道 13%
	26年	4,560	341	303	409	320	秋田 9%
	27年	4,629	392	370	453	367	千葉 4%
ねぎ	5カ年平均	4,609	346	320	401	332	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,630	360	320	400	360	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、東北、北海道からの入荷が中心となる。茨城は梅雨に入ってから前進出荷傾向で肥大も回復傾向。青森は梅雨に入り生育は概ね良好でお盆明けから出荷増の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
し	23年	8,802	183	119	188	251	長野 83%
	24年	9,774	120	123	123	115	群馬 13%
	25年	10,171	140	139	134	148	岩手 1%
	26年	8,784	194	181	198	320	
	27年	9,585	198	206	216	177	
し	5カ年平均	9,423	166	153	170	198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,800	147	120	180	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。長野、群馬ともに適度な降雨と適温推移の影響で生育は前進傾向で概ね良好、順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き	23年	8,254	231	202	157	353	福島 41%
	24年	9,301	178	165	163	201	岩手 24%
	25年	8,008	264	217	184	396	秋田 14%
	26年	7,157	391	194	451	559	山形 6%
	27年	8,160	289	267	250	360	宮城 4%
き	5カ年平均	8,176	265	208	234	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,100	263	230	280	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>福島、岩手など東北産地からの入荷が中心となる。福島は雨除けハウスの生育は概ね良好だが露地ものは若干遅れ気味。岩手、秋田は低夜温の影響で生育遅れ気味で出荷減の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	1,226	258	334	238	212	愛知 29%
	24年	1,151	182	201	178	175	山梨 24%
	25年	997	202	230	165	221	徳島 18%
	26年	840	329	275	364	358	茨城 9%
	27年	1,094	278	333	277	245	
す	5ヵ年平均	1,062	246	276	239	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,000	290	290	290	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、山梨を中心に徳島、群馬などから入荷する。各産地ともに生産量が少なく、入荷は減少傾向。生育は順調だが、最も台風左右される品目。盆明けがピークでその後は平準化する。 入荷量は前年をかなり下回り、価格はやや上回る見込み。</p>							
ト マ ト	23年	1,677	364	384	336	388	岐阜 60%
	24年	1,773	287	291	250	320	北海道 21%
	25年	1,881	313	326	281	334	愛知 8%
	26年	1,839	299	262	262	363	長野 4%
	27年	1,702	304	273	282	361	
ト	5ヵ年平均	1,774	313	307	281	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,800	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜、北海道を中心に青森、愛知、長野などから入荷する。大玉中心の入荷で、上旬は多いが、中旬以降は成り疲れで減ってくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	23年	370	705	719	699	709	北海道 79%
	24年	451	428	493	348	453	長野 9%
	25年	450	562	523	517	628	愛知 5%
	26年	457	511	482	453	589	岩手 2%
	27年	441	571	578	568	595	
ト	5ヵ年平均	434	550	553	510	591	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	450	550	550	550	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に長野などからも入荷する。北海道の夏秋は6月の低温で10日ほど遅れて生育がすすんでいる。出荷は上旬がピークとなる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	5,107	268	357	206	252	栃木 30%
	24年	5,690	175	188	182	159	茨城 25%
	25年	5,478	207	227	148	248	群馬 24%
	26年	4,621	297	223	330	343	埼玉 6%
	27年	5,126	266	283	245	272	岩手 4%
す	5ヵ年平均	5,204	240	255	218	251	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,200	280	340	230	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。栃木、群馬は日照不足の影響で生育遅れ気味だが今後の天候次第。茨城は生育は概ね良好だが害虫の発生が目立ってきている。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	9,145	356	402	293	390	青森 21%
	24年	11,413	245	232	222	274	北海道 18%
	25年	10,266	289	300	253	308	福島 16%
	26年	9,833	264	239	233	320	群馬 12%
	27年	9,009	294	257	257	387	岩手 9%
ト	5ヵ年平均	9,933	287	283	250	332	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,100	277	300	250	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道、福島、群馬からの入荷が中心となる。東北、北海道の生育は低温の影響で出荷は遅れ気味だが、今後の天候次第。群馬は生育は概ね良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					
ミ ニ マ ト	23年	1,074	707	718	729	677	北海道 33%
	24年	1,512	425	441	351	465	青森 15%
	25年	1,643	561	544	540	590	岩手 13%
	26年	1,702	552	509	524	619	茨城 12%
	27年	1,743	599	551	569	673	福島 11%
ト	5ヵ年平均	1,535	561	542	532	603	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,800	567	600	530	570	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森、岩手、茨城からの入荷が中心となる。北海道は気温が上がらず着色が7日程度遅れ気味でお盆明けから増量の見込み。茨城は抑制作型が上旬から出荷見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	525	291	442	291	255	岩手 42%
	24年	470	245	304	266	219	北海道 39%
	25年	442	323	441	292	319	長野 6%
	26年	424	315	270	292	409	青森 6%
	27年	482	424	407	460	448	
マ	5カ年平均	469	320	376	321	327	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	460	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、北海道を中心に長野、青森などから入荷する。 東北産地は天候不順で遅れたが、7月下旬から増え、上旬は多くなる。盆過ぎ以降はピークを過ぎ減少してくる見込み。 入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれい	23年	1,814	107	103	105	110	北海道 74%
	24年	2,019	89	85	90	94	青森 19%
	25年	1,974	177	215	193	149	静岡 6%
	26年	2,296	132	140	131	132	茨城 1%
	27年	2,438	142	171	152	125	
い	5カ年平均	2,108	130	144	135	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,250	145	165	145	125	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に青森などから入荷する。各産地前進して出ている中、北海道は6月の降雨が多く低温だったため、例年並みの7月下旬から入荷が始まる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	4,515	74	79	73	73	北海道 52%
	24年	3,430	122	134	132	112	兵庫 39%
	25年	4,178	102	103	107	100	愛知 4%
	26年	3,982	126	129	137	121	中国 3%
	27年	3,795	139	160	142	124	
ね	5カ年平均	3,980	111	119	116	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,700	140	200	160	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫の淡路島、北海道を中心に入荷する。兵庫は盆前には終盤となり減ってくる。北海道は上旬から出荷がスタートする。6月の降雨低温の影響もあるが、生育は悪くはない。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	2,090	245	354	218	176	岩手 50%
	24年	2,167	187	275	172	144	茨城 16%
	25年	2,052	265	377	213	231	福島 14%
	26年	1,841	319	282	290	384	青森 13%
	27年	1,860	398	371	451	382	北海道 2%
マ	5カ年平均	2,002	279	332	264	257	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,820	340	400	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、福島など東北産地と茨城からの入荷が中心となる。岩手、青森は低温と曇天の影響で生育は遅れ気味。梅雨明けとともに生育回復の見込み。茨城は生育は概ね良好で着果も良好。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばいしょ	23年	5,566	107	93	105	119	北海道 80%
	24年	5,589	93	82	95	98	青森 7%
	25年	5,507	171	195	181	154	茨城 6%
	26年	6,413	131	131	130	130	千葉 3%
	27年	6,961	133	154	133	121	静岡 2%
い	5カ年平均	6,007	127	132	129	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,700	137	170	130	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に青森、茨城からの入荷となる。北海道は生育は概ね良好だが天候不順の影響から5日程度遅れ気味で病害発生や品質低下が懸念材料。青森は作付面積微増で肥大は若干小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	9,792	82	84	84	79	北海道 56%
	24年	8,450	130	141	130	123	兵庫 21%
	25年	9,797	112	115	115	109	佐賀 11%
	26年	10,162	132	131	135	130	中国 7%
	27年	10,359	134	160	134	118	香川 1%
ね	5カ年平均	9,712	118	126	120	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,000	160	170	170	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、兵庫、佐賀からの入荷が中心となる。北海道は6月の天候不順から生育はやや遅れ気味で小玉傾向。兵庫、佐賀は終盤でべと病発生の影響で前倒し出荷のため入荷量は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	23年	11,989	321	338	316	305	長野 31%
	24年	11,605	342	357	328	341	フィリピン 13%
	25年	11,231	351	369	327	350	愛知 11%
	26年	10,208	361	352	365	359	山形 10%
	27年	8,950	435	444	445	419	
	5ヵ年平均	10,797	358	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,200	420	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国産は長野、愛知、山形が中心。お盆をひかえて果実の需要が高まるなか、夏の季節を感じさせる果実に加え、なし、ぶどう、りんごなどの秋果実の出荷が始まる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ア ー ル ス メ ロ ン	23年	340	500	—	—	—	愛知 54%
	24年	286	514	—	—	—	静岡 26%
	25年	271	507	—	—	—	青森 12%
	26年	248	537	—	—	—	茨城 4%
	27年	221	641	—	—	—	
	5ヵ年平均	273	534	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	200	600	600	650	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、静岡が中心。前倒し傾向で7月下旬出回った分、8月の入荷量については少なくなる見込み。産地の高齢化や作付け面積の減少もあり年々減少傾向にある。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
す い か	23年	2,897	135	148	137	103	長野 42%
	24年	2,973	155	161	153	149	山形 29%
	25年	2,595	174	165	185	201	秋田 19%
	26年	2,470	132	145	141	111	青森 7%
	27年	1,901	213	212	234	193	
	5ヵ年平均	2,567	159	163	166	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,000	200	200	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野、山形が中心。7月の露地ものが後ろ倒しとなったため、その分8月は多くなる見込み。生育順調で大玉。3L中心となる。カット売り需要で大玉は高値。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
果 実 計	23年	44,246	298	319	294	275	山形 18%
	24年	41,317	337	336	337	338	福島 11%
	25年	41,184	339	354	328	330	山梨 10%
	26年	40,624	348	334	365	348	長野 10%
	27年	36,074	423	417	446	411	茨城 7%
	5カ年平均	40,689	346	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	40,000	430	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
なし、もも、ぶどう中心に入荷。ももは福島、山梨中心で各産地とも生育前進している。なしは関東産地が中心。生育も良く玉肥大も順調で前年以上の出回りが見込まれる。ぶどうは山梨、長野が中心で、各産地とも生育が前進しており、切り上がりが早くなる見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。							
ア ー ロ ン	23年	706	483	531	464	415	静岡 33%
	24年	633	502	472	658	460	茨城 26%
	25年	682	501	505	589	453	青森 23%
	26年	632	540	518	666	462	山形 9%
	27年	590	659	639	787	591	愛知 4%
	5カ年平均	649	534	531	626	473	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	620	660	500	750	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡、茨城中心に入荷。静岡は安定的な入荷が続いており、上旬に増加する見込み。茨城は上旬に入荷のピークを迎え、その後は落ち着く見込み。7月下旬以降出荷分の作付面積は拡大しており、入荷量は前年を上回る見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。							
す い か	23年	10,589	137	140	143	117	山形 49%
	24年	11,830	155	157	147	158	長野 16%
	25年	9,270	174	157	182	210	秋田 13%
	26年	11,171	137	140	141	124	青森 7%
	27年	8,465	213	206	238	189	北海道 5%
	5カ年平均	10,265	160	158	166	157	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	10,000	220	210	230	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
山形、長野などから入荷する。山形は定植時の低温により生育は遅れ気味だが仕上がりは良好。長野は好天候により生育が前進しており、品質は良好で大きく大玉傾向。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	23年	3,003	51	
		24年	2,375	65	
		25年	2,289	56	
		26年	2,163	60	
		27年	2,200	60	
	5ヶ年平均		2,406	58	
	28年見通し		2,200	60	
概要	愛知、長野、三重などから入荷する。やや前進傾向で昨年のようなひどい品薄とはならないが、あまり大きなピーク無く推移する見込み。				
小 ぎ	実績	23年	3,309	31	
		24年	2,602	35	
		25年	2,696	31	
		26年	2,082	37	
		27年	1,704	47	
	5ヶ年平均		2,479	35	
	28年見通し		2,200	35	
概要	愛知、長野、岩手、奈良等から入荷する。産地により前進したり、遅れていたりともちまちまだが、一部盆明けに残るものもあり、中旬以降やや荷動きが重い展開も予想される。				
カー ネー シ ョ ン	実績	23年	1,375	40	
		24年	1,411	38	
		25年	1,167	46	
		26年	1,185	48	
		27年	1,200	45	
	5ヶ年平均		1,268	43	
	28年見通し		1,200	43	
概要	長野を中心に北海道等から入荷する。近年各産地が一番花の集中をずらす作型を取っており、大きな相場の崩れは少なくなった。例年より6、7月の気温の高かったため、全体で1週間ほど前進しており、盆の後半は若干少なめで推移する。				
か す み 草	実績	23年	73	115	
		24年	118	85	
		25年	103	121	
		26年	104	130	
		27年	118	117	
	5ヶ年平均		103	113	
	28年見通し		110	115	
概要	長野、福島、北海道から入荷する。前半の入荷は少なめだが、中旬には回復して例年並みの入荷となる見込み。小売向けの動きはあまりなく、業務需要中心の販売となる。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	23年	546	149	
		24年	549	137	
		25年	433	159	
		26年	401	166	
		27年	237	96	
	5ヶ年平均		433	145	
	28年見通し		300	120	
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道中心に入荷する。前半は少なめの入荷で、中旬には天候次第だが増量する。LAは埼玉、新潟中心で順調に入荷。鉄砲は愛媛、兵庫中心で、今のところ順調な入荷。10日頃がピークとなる見込み。相場は前年より高めの動き。</p>				
洋 ら ん	実績	23年	484	83	
		24年	464	88	
		25年	484	83	
		26年	402	108	
		27年	507	82	
	5ヶ年平均		468	88	
	28年見通し		450	90	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、輸入等が入荷となる。ラン系は安値が続いていたが、ここに来て相場も取り戻し、安定した。先月に続いて気温の高い時期なので、価格差が広がる傾向になるだろう。お盆需要で引き合いは出てくる見込み。</p>				
ば ら	実績	23年	696	54	
		24年	736	50	
		25年	623	54	
		26年	428	102	
		27年	580	57	
	5ヶ年平均		613	60	
	28年見通し		550	60	
概要	<p>長野、青森、愛知、岐阜、和歌山等から入荷する。暖地の一部が休みに入っているため、入荷量は落ち着いたものとなる。お盆明けからは三重(伊勢)からの出荷も再開する。</p>				
枝 も の	実績	23年	2,440	57	
		24年	2,265	57	
		25年	2,073	55	
		26年	1,949	61	
		27年	1,898	66	
	5ヶ年平均		2,125	59	
	28年見通し		1,800	65	
概要	<p>福岡、静岡、長野から盆商材中心に入荷する。ホウズキは生産減に加え、天候不順による生産不振で、非常に強い展開になりそう。その他の品目も堅調に推移すると思われるが、稽古花材は軟調気味になる見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	23年	17,425	908	
		24年	14,987	913	
		25年	14,493	989	
		26年	13,836	943	
		27年	11,729	863	
	5ヶ年平均		14,494	925	
	28年見通し		12,000	842	
概要	<p>入荷量は昨年並みの見込み。作付けは大きく変更が無く、6号・7号サイズが主体で入荷、MIXでの入荷が多い見込み。色別では赤・ピンク・白の引き合いが強く、特殊な色は苦戦する。昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(99.3%)、2位三重(0.4%)、3位岐阜(0.2%)となっている。</p>				
シ ヤ コ バ サ ボ テ ン	実 績	23年	7,665	353	
		24年	9,362	317	
		25年	7,746	334	
		26年	7,616	342	
		27年	10,346	336	
	5ヶ年平均		8,547	335	
	28年見通し		10,000	340	
概要	<p>入荷量は昨年並の見込み。お盆明けから入荷が始まる。昨年同様5号鉢以下の引き合いが強くなる予想。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉(93.0%)、2位愛知(7.0%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	23年	4,831	117	
		24年	5,883	145	
		25年	6,156	100	
		26年	4,430	109	
		27年	6,714	141	
	5ヶ年平均		5,603	123	
	28年見通し		6,700	140	
概要	<p>入荷量は、昨年よりやや減少の見込み。気温の上昇が予測されるため、産地には花色を多く、又濃い色を少なめで出荷願いたい。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位岐阜(65.3%)、2位愛媛(28.8%)、3位愛知(5.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジュウウ	実績	23年	3,400	800	
		24年	3,263	813	
		25年	3,000	800	
		26年	2,833	781	
		27年	2,858	695	
	5ヶ年平均		3,071	780	
	28年見通し		2,800	696	
概要	<p>入荷量は昨年並の見込み。今年は年明けからの生育が良いので、作付量は減っているが、開花が追いついてきて入荷量は同じくらいになる予想。開花が早いので蓄多めでの出荷を希望する。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(37.5%)、2位長崎(30.9%)、3位高知(24.7%)となっている。</p>				
スパティ	実績	23年	7,081	235	
		24年	10,885	185	
		25年	8,796	201	
		26年	8,066	184	
		27年	4,715	275	
	5ヶ年平均		7,909	208	
	28年見通し		4,700	277	
概要	<p>入荷量は昨年より減少見込み。特に5号、4号が少なく他は昨年と同様の見込み。3号から4号の小鉢は動きは鈍く、店頭で花持ちの良い5号から6号に引き合いが集中する。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位三重(64.0%)、2位岐阜(18.1%)、3位愛知(17.1%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	23年	24,649	603	
		24年	24,660	675	
		25年	20,531	725	
		26年	15,599	915	
		27年	24,000	750	
	5ヶ年平均		21,888	719	
	28年見通し		15,000	860	
概要	<p>入荷量は昨年より大幅に減少する見込み。愛知中心だが輸入原木の減少から大幅に入荷は減少すると思われる。入荷は定番のマッサン・ジェレ・パキラ・コンシの7号が中心の見込み。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(68.4%)、2位沖縄(13.6%)、3位鹿児島(8.0%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2016年)

1 輸出実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	528	112.2	383,434	121.2	726	122.8	16,196	112	7,617,137	121	470	109
うんしゅうみかん	13	92.2	23,778	112.4	1,814	162.8	245	92	162,904	112	665	108
りんご	437	112.5	170,674	118.5	391	91.4	15,209	112	6,087,887	118	400	108
なし	-	44.3	-	40.5	-	-	27	44	12,552	41	474	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	311,585	163.9	2,595,558	164
緑茶	251	112.5	766,194	118.1	3,047	118.0	1,701	113	4,321,588	118	2,540	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	60,021	87.3	7,363,131	100.2	123	113.9	314,634	87	42,397,038	100	135	115
トマト	434	93.9	161,473	94.2	372	97.1	2,419	94	921,204	94	381	100
たまねぎ	19,237	67.2	1,032,844	95.2	54	105.6	86,828	67	6,360,757	95	73	142
にんにく	1,623	98.0	413,149	120.1	255	117.2	8,147	98	2,097,570	120	257	123
ねぎ	4,095	87.0	754,059	149.4	184	176.0	19,578	87	3,697,843	149	189	172
結球キャベツ	730	30.4	31,227	31.9	43	93.7	4,091	30	190,593	32	47	105
ブロッコリー	1,879	102.1	414,542	89.7	221	86.0	8,594	102	1,944,345	90	226	88
にんじん・かぶ	4,938	79.4	416,846	107.4	84	205.5	21,537	79	1,411,139	107	66	135
ごぼう	3,173	120.0	205,875	135.0	65	107.4	18,191	120	1,204,225	135	66	112
えんどう	66	82.3	31,970	105.0	485	121.0	392	82	205,250	105	523	128
アスパラガス	383	120.8	318,223	108.3	830	86.9	5,562	121	3,866,891	108	695	90
まつたけ	-	116.7	-	177.5	-	-	0	117	822	178	4,893	152
しいたけ	75	71.2	28,792	67.9	384	81.7	791	71	284,384	68	359	95
かぼちゃ	11,963	104.3	1,111,721	79.0	93	85.6	82,071	104	6,391,431	79	78	76
果実(生鮮・乾燥)	164,938	104.8	32,772,922	100.6	199	86.3	723,853	105	134,271,914	101	185	96
バナナ(生鮮)	91,154	103.2	10,027,731	108.5	110	100.5	404,108	103	41,956,216	109	104	105
パイナップル(生鮮)	13,711	95.9	1,252,258	113.3	91	107.1	58,828	96	5,707,862	113	97	118
レモン(生鮮・乾燥)	3,718	96.5	865,494	86.0	233	90.8	18,118	97	4,199,126	86	232	89
オレンジ(生鮮・乾燥)	8,015	125.7	1,129,793	111.5	141	86.9	42,072	126	6,171,334	111	147	89
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	1,957	83.8	268,519	86.4	137	89.7	35,327	84	5,452,270	86	154	103
メロン(生鮮)	3,822	126.2	415,555	121.9	109	99.6	16,165	126	1,755,260	122	109	97
ぶどう(生鮮・乾燥)	7,197	113.0	2,095,149	107.8	291	95.4	31,355	114	9,627,854	114	307	100
キウイフルーツ(生鮮)	16,004	106.3	5,391,954	105.2	337	95.3	29,891	106	10,400,798	105	348	99
いちご(生鮮)	34	64.4	35,087	60.7	1,023	96.2	45	64	46,020	61	1,021	94
切花(生鮮・乾燥)	2,221	98.3	2,123,604	94.4	956	94.4	15,821	98	14,541,922	94	919	96
鳥獣肉類	171,183	108.3	79,449,706	93.5	464	86.6	832,560	108	396,364,968	94	476	86
牛肉(くず肉含む)	46,478	95.8	25,750,846	77.6	554	81.9	195,552	96	113,367,620	78	580	81
豚肉(くず肉含む)	67,857	111.9	35,721,406	108.0	526	99.1	353,145	112	186,027,129	108	527	97
鶏肉	46,521	115.9	9,034,114	84.3	194	65.9	233,944	116	52,791,035	84	226	73
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	145,529	100.0	91,395,934	95.8	628	97.3	680,038	100	437,527,073	96	643	96
まぐろ類	17,855	109.4	18,713,911	97.8	1,048	93.1	91,730	109	86,627,334	98	944	89
さば・さんま・あじ・いわし	5,707	94.7	1,122,152	83.8	197	90.6	38,829	95	7,593,457	84	196	88

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

「 0 」・・・単位に満たないもの

「 ... 」・・・事実不詳

「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国 平成22年=100) 愛知県 平成22年=100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 平均	103.6	108.0	114.3	112.1	116.6
	28年 3月	103.3	108.4	135.9	114.1	116.5
	4月	103.4	109.9	125.4	113.9	115.8
5月	103.6	108.2	132.8	113.8	115.9	
愛 知 県	25年 平均	99.9	98.7	104.1	99.1	103.5
	26年 平均	102.6	103.7	109.6	107.3	112.7
	27年 平均	103.5	111.3	117.3	114.7	115.7
	28年 3月	103.3	109.7	143.9	119.0	115.1
	4月	103.5	112.5	127.4	119.5	111.5
5月	103.6	108.2	138.1	116.7	115.0	

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年	平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年 平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 平均	107.6	88.6	110.4	105.4	126.8
	28年 3月	120.5	93.4	126.3	140.3	131.6
	4月	113.8	93.5	108.7	128.6	130.0
5月	114.0	93.6	108.1	141.8	131.1	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)													
品目 年月	うるち米 (単一品種「コシヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5kg	1kg										100g	1kg
25年 平均	2,149	156	202	631	499	304	162	367	225	564	652	165	494
26年 平均	1,970	170	190	661	481	321	162	376	276	581	649	161	545
27年 平均	1,855	202	227	691	561	374	175	373	270	623	684	180	563
28年 3月	1,887	133	217	625	614	358	163	349	244	612	781	174	555
4月	1,901	181	271	625	538	432	179	395	244	504	769	175	593
5月	1,909	206	255	816	381	391	183	385	241	467	656	163	678
品目 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g				
25年 平均	557	300	364	209	216	772	540	157	177	319	810	223	407
26年 平均	584	336	437	174	240	824	533	166	175	336	861	243	428
27年 平均	643	383	477	183	264	886	526	177	177	353	925	228	461
28年 3月	951	415	484	206	265	1,099	518	194	191	379	940	240	469
4月	…	415	422	166	273	1,116	518	187	190	362	932	246	446
5月	…	426	489	190	272	1,005	497	191	187	352	934	228	482

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
=もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.518
平成28年8月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719